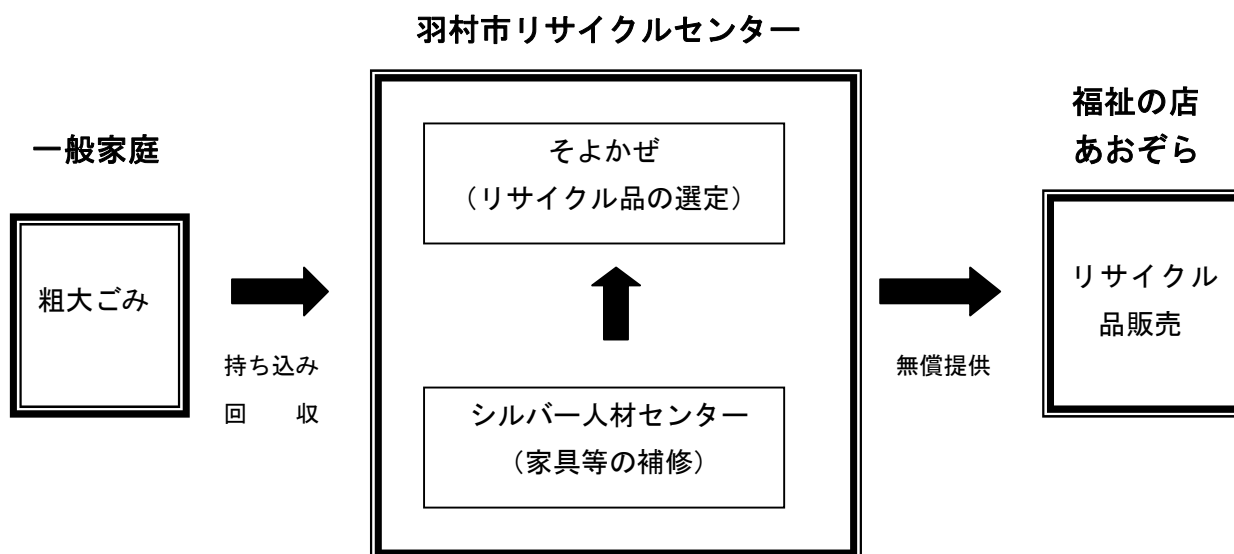


現在の羽村市リサイクル品販売事業

1. 実施団体 社会福祉法人そよかぜ
2. 実施日 平成13年4月1日
3. 店舗 福祉の店 あおぞら（羽村市緑ヶ丘5丁目11番地9）
4. 目的 羽村市が清掃事業によって収集又は持ち込まれた廃棄物のうち再使用可能な物の販売を社会福祉法人そよかぜにおいて実施することによって、ごみの減量及び再使用に関する市民意識の高揚を図るとともに、障害者の社会参加の促進を図ることを目的としている。
5. リサイクル品の流通と関係団体の役割



6. (社) 羽村市シルバー人材センター派遣作業員業務詳細内容

- ① 家具等の修繕については、簡易的に修理できるもので、なるべく新しい家具等を選んで修理を行っている。

7. 福祉の店あおぞらリサイクル品販売業務詳細内容

- ① 羽村市リサイクルセンターで修理が完了したリサイクル品を、あおぞらの従業員が品物を選び、あおぞらの店に運搬し、展示販売している。
- ② あおぞらは、引き渡しを受けたリサイクル品で、販売できなかった物について、羽村市リサイクルセンターに無償で返却している。
- ③ リサイクル品の配送業務も行っている。(配送料金表 別紙参照)
- ④ あおぞらの従業員は、店の品物の販売状況に応じて、随時、羽村市リサイクルセンターに出向き(午前10時前後)リサイクル品を運搬している。
- ⑤ 現在、あおぞらの従業員は補修作業を行っていないが、過去は、(社)羽村市シルバー人材センターから派遣されている作業員が技術の提供支援として、あおぞらの従業員(障害者)に修理の指導を行っていた。
- ⑥ リサイクル品の運搬については、あおぞらのトラックを使用し、3人(健康者1人、障害者2人)で運搬を行っている。しかし、雨天時はリサイクル品の運搬は行っていない。
- ⑦ 羽村市リサイクルセンターからリサイクル品を搬出する時には、必ず計量を行う。

8. リサイクル品販売事業に係る費用(平成20年度実績)

- ① リサイクル品販売事業に係る修繕料 (シルバー人材センター委託料)
時給 1,053 円 × 900 時間 × 1.05 = 995,085 円/年
- ② リサイクル品販売事業に係る消耗品購入額
木工用ボンド、刷毛、スポンジ、水性ニスなど 39,000 円/年

平成20年度のリサイクル品販売事業に係る費用を計算すると、
市の歳出は、修繕料 995,085 円 + 消耗品額 39,000 円 =

1,034,085 円/年となる。

9. 羽村市リサイクル品販売実績

年度	平成 13 年度	平成 14 年度	平成 15 年度	平成 16 年度
リサイクル品 搬出件数	1,089 品	1,728 品	2,216 品	1,884 品
リサイクル品 販売数	982 品	1,619 品	2,245 品	1,858 品
販売金額	1,852,940 円	1,930,450 円	2,004,485 円	1,745,550 円

年度	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度
リサイクル品 搬出件数	1,773 品	1,674 品	1,243 品	1,231 品
リサイクル品 販売数	1,698 品	1,705 品	1,236 品	1,234 品
販売金額	1,653,950 円	1,896,620 円	1,364,360 円	1,288,820 円

※ リサイクル品搬出件数とリサイクル品販売数の品数に差があるのは、売れ残ったリサイクル品を無償でリサイクルセンターへ返却しているのと、年度繰り越しをして販売しているリサイクル品があるからである。

10. 過去の羽村市直営でのリサイクル品販売実績

【販売件数・販売金額の実績】

平成 10 年度 381 品 259,300 円（直営販売 年 3 回販売）

平成 11 年度 399 品 387,000 円（直営販売 年 3 回販売）

平成 12 年度 289 品 329,200 円（直営販売 年 2 回販売）

※ 補修作業は、（社）羽村市シルバー人材センターの派遣作業員が行っていた。

11. 近隣のリサイクル品販売事業の状況（平成 20 年度実績）

自治体名	事業団体	事業場所	20 年度販売品数 20 年度販売金額
羽村市	社会福祉法人 そよかぜ	民間店舗賃貸借	1,234 品 1,288,820 円
立川市	（社）立川市シルバー 人材センター	市リサイクルセンター内	8,378 品 11,112,306 円
青梅市	（社）青梅市シルバー 人材センター	市リサイクルセンター内	5,588 品（19 年度） 9,632,500 円（19 年度）
昭島市	なし	なし	なし

自治体名	事業団体	事業場所	20年度販売品数 20年度販売金額
福生市	(社)福生市シルバー 人材センター	市リサイクルセンター内	782品 932,020円
あきる野市	なし	なし	なし
瑞穂町	瑞穂町(直営)	町リサイクルプラザ内	1,246品 273,020円

- ※ 立川市と青梅市は、自転車もリサイクル品として販売を行っている。
- ※ 昭島市に集められた小型家電製品等は民間業者へ売却し、リユースされている。(家具等の粗大ごみは、破砕処分)
- ※ あきる野市は、粗大ごみで出た家具等や小型家電製品等は破砕処理をし、処分を行っている。

1.2. 今後のリサイクル品販売事業について

現在のリサイクル品販売事業について、社会福祉法人そよかぜより、平成21年度末で販売事業から撤退したいとの申し出があり、羽村市として、循環型社会の実現に向けて、3Rの1つであるリユースを、どのような考え方をもって推進していくかを審議会で検討していただき、決定したいと考えている。

1.3. 今後のリサイクル品販売事業(案)

【案1】直営での販売方法

- ① 実施団体 羽村市
- ② 実施日 平成22年4月1日から
- ③ 販売場所 羽村市リサイクルセンター1階工作室
- ④ 販売日 毎月第1日曜日 午前9時～午後4時
(正午～午後1時は除く)
- ⑤ 販売方法 案1 リサイクル品を常時展示し、入札方式
案2 リサイクル品を常時展示し、抽選方式
案3 リサイクル品を常時展示し、価格提示販売方式
- ⑥ 業務内容 毎月第1日曜日が羽村市リサイクルセンターの粗大ごみの持ち込みの受け入れ日になっていることから、毎月第1日曜日を販売日にあて、職員等が家具等の販売を行う。
- ⑦ 補修作業 平成21年度と同様に(社)羽村市シルバー人材センターに委託して、補修作業を行ってもらう。

⑧ リサイクル品販売事業に係る費用

販売収益	人件費 (市職員)	委託費	修繕費
1,288,820 円	328,800 円	995,085 円	39,000 円

※販売収益は、平成 20 年度リサイクル品販売金額である。

※人件費は、平成 20 年度決算数値(一般職の管理職除く)より算出した。

※委託費は、平成 20 年度の(社)羽村市シルバー人材センター委託料から算出した。

※修繕費は、平成 20 年度リサイクル品販売事業に係る消耗品購入額である。

【算出方式】

(人件費)

$$\text{時給 } 3,425 \text{ 円} \times 8 \text{ 時間} \times 12 \text{ ヶ月} \times 1 \text{ 人} = \underline{328,800 \text{ 円/年}}$$

(委託費)

$$\text{時給 } 1,053 \text{ 円} \times 900 \text{ 時間} \times 1.05 = \underline{995,085 \text{ 円/年}}$$

(修繕費)

リサイクル品販売事業に係る消耗品購入額

$$\text{木工用ボンド、刷毛、スポンジ、水性ニスなど} \quad \underline{39,000 \text{ 円/年}}$$

よって、羽村市直営でのリサイクル品販売事業に係る費用を計算すると、市の歳出は、

$$\text{歳出(人件費 } 328,800 \text{ 円} + \text{委託費 } 995,085 \text{ 円} + \text{修繕費 } 39,000 \text{ 円)} - \text{歳入(販売収益 } 1,288,820 \text{ 円)} = \underline{74,065 \text{ 円/年}} \text{となる。}$$

※リサイクル品の販売金額によってリサイクル品販売事業に係る費用は変動する。

【案 2】(社)羽村市シルバー人材センターでの運営販売方法

- ① 実施団体 (社)羽村市シルバー人材センター
- ② 実施日 平成 22 年 4 月 1 日から
- ③ 販売場所 羽村市リサイクルセンター 1 階工作室
- ④ 営業日 月曜日～金曜日 午前 9 時～午後 4 時
- ⑤ 販売方法 案 1 リサイクル品を常時展示し、入札方式
案 2 リサイクル品を常時展示し、抽選方式
案 3 リサイクル品を常時展示し、価格提示販売方式
- ⑥ 業務内容 羽村市が、羽村市リサイクルセンター 1 階工作室と粗大ごみとして集められた家具等を無償で提供し、(社)羽村市シルバー人材センターが、補修作業と販売を行う。

⑦ 補修作業 (社)羽村市シルバー人材センターで雇用されている方が、補修作業を行う。(補修作業による市の負担はなし)

⑧ リサイクル品販売事業に係る費用

販売収益	人件費	修繕費
1,288,820 円	995,085 円	39,000 円

※販売収益は、平成 20 年度リサイクル品販売金額である。

※人件費は、平成 20 年度の (社)羽村市シルバー人材センター委託料から算出した。

※修繕費は、平成 20 年度リサイクル品販売事業に係る消耗品購入額である。

【算出方式】

(人件費)

$$\text{時給 } 1,053 \text{ 円} \times 900 \text{ 時間} \times 1.05 = \underline{995,085 \text{ 円/年}}$$

(修繕費)

リサイクル品販売事業に係る消耗品購入額

$$\text{木工用ボンド、刷毛、スポンジ、水性ニスなど} \quad \underline{39,000 \text{ 円/年}}$$

リサイクル品販売事業を (社)羽村市シルバー人材センターに運営を任せることから羽村市の歳出は、0 円/年となる。

(社)羽村市シルバー人材センターのリサイクル品販売事業に係る費用を計算すると、

$$\text{歳入 (販売収益 } 1,288,820 \text{ 円)} - \text{歳出 (人件費 } 995,085 \text{ 円} + \text{修繕費 } 39,000 \text{ 円)} = \underline{254,735 \text{ 円/年}}$$

※リサイクル品の販売金額によってリサイクル品販売事業に係る費用は変動する。

【案 3】 リサイクル推進協力店の認定制度による民間運営販売方法

- ① 実施団体 **リサイクル推進協力店**
- ② 実施日 平成 22 年 4 月 1 日から
- ③ 販売場所 リサイクル推進協力店
- ④ 営業日 民間のリサイクルショップのため営業日は不明
- ⑤ 業務内容 羽村市リサイクルセンターに粗大ごみとして集められた家具等をリサイクル推進協力店に無償で提供し、リサイクル推進協力店が羽村市から出たリサイクル品の売上げ額の 5% を市の歳入とする。
- ⑥ 補修作業 羽村市リサイクルセンターに持ち込まれた状態の家具等をリサイクル推進協力店が自らの店舗で、補修作業を行う。

- ⑦ 搬出方法 リサイクル推進協力店が運搬搬出を行う。
- ⑧ リサイクル品販売事業に係る費用
 リサイクル推進協力店は民間の事業所のため費用の算出は未定

リサイクル品販売事業をリサイクル推進協力店に運営を任せることから、羽村市の歳出は、0円/年となり、
羽村市から出たリサイクル品の売上げ額の5%が市の歳入となる。

※リサイクル品の販売金額によってリサイクル品販売事業に係る費用は変動する。

14. リサイクル品を粗大ごみとして処分した場合の費用

平成20年度のリサイクル品販売量が約13tだったことから、リサイクル品を補修せずにそのまま粗大ごみとして、羽村市リサイクルセンターで破碎処理を行った後、西多摩衛生組合へ焼却処分を行うことで、西多摩衛生組合負担金は単純計算で約23万円増となる。